

即時停戦 ガザに平和を 銀座デモ

イスラエルによるガザ地
区攻撃で民間人の犠牲者が
広がる中、攻撃の中止と即時停戦を求めるデモが5日、東京・銀座で行われました。主催は、総がかり行動実行委員会などが参加す

る「パレスチナに平和を！」てこたえました。

ました。

（1/6系）

る「パレスチナに平和を！」緊急行動。1600人の参加者（主催者発表）は「ガザに平和を！」などと書かれたフラカードを掲げ、「ストップ・ジェノサイド（虐殺やめろ）！」と訴え、沿道の人々がコールを唱和し、文明の意味がない」と語りました。この争いを止められないのであれば私たちの争いを止めらました。この争いを止めら

れないものではありません。埼玉県鴻巣市の西尾綾子さん（54）は「SNSで流れてくる映像を見て、見てきた。この争いを止めら

ません。この争いを止めら
れないものではありません。埼玉県鴻巣市の西尾綾子
さん（54）は「SNSで情報共有して友人と参加。「現地から発せられる痛みの声に対しても立ってもいられず参加しました。この争いを止めら

れないと感じます。私たちには応答する責任がある。大手メディアがガザの現状を十分に報道していないと感じるが、デモ参加を通じて（イスラエルとの）会談でハマスの攻撃を一方的に非難した（上川法相の態度が日本の全てではないと示したい」と話しました。

神奈川県大和市の片寄一



「パレスチナを攻撃するな」「ガザに自由を」とコールしながらデモ行進する人たち=5日、東京都中央区

成さん（64）は、イスラエルによる一方的な虐殺を止めることには国際的な世論が必要だと強調。「ハマスによるテロ行為が一つのきっかけだとしても、それ以前からイスラエルの強引な姿勢があり、今では一方的な虐殺になっている。日本国内からも即時停戦を求める声をあげていきたい」と語りました。

日本共産党中央委員会議員が参加しました。